

市区町村名	愛媛県 砥部町	担当部署	企画財政課
		電話番号	(089) 962-7250

1 取組事例名
業務の効率化 予算仕訳
2 取組期間
平成 27 年度当初予算より実施
3 取組概要
平成 27 年度の当初予算から、仕訳パターンに応じて細節を設定した。予算段階から複式処理が出来るようにしておく。
4 背景・目的
平成 29 年度までに、新たな基準での財務諸表公表が求められている。日々、仕訳を確認していく方法と期末に一括して仕訳を確認する方法があるが、期末一括変換方式に関してはすべての区分で自動処理することはできないため、期末にかなりの確認作業が発生する。
5 取組の具体的内容
<p>画期的な思考！ 予算仕訳</p> <p>砥部町では、平成 27 年度から仕訳パターンに合せた細節を用意し、システムに予算を入力すればほぼ仕訳が終わるようなイメージとしている。また、予算仕訳を始めると同時に公会計担当を会計課に移している。その理由は、支出命令や兼票といった伝票単位で、予算仕訳が正しく執行されていたかどうかを、毎日会計課職員が確認するためである。未払金や未収金を立てないため、期末一括変換方式と言えるかもしれないが、可能な限り日々仕訳に近い体制を整えていく。月例監査などにも複式簿記から得られるデータを提供可能だ。さらに、資産形成を伴う支出伝票には、資産台帳登録済票を添付して貰うことで資産登録漏れを防ぐ体制を整えている。これは、究極の内部統制である。支出伝票欄外には、仕訳を職員に見せることで、施設別や事業別のセグメント情報を作成、説明するときの知識としていく。</p>

平成 27 年度当初予算書

説明	金額
・水道水質検査委託料	10
・プール水質検査委託料	30
・貯水槽清掃委託料	22
・貯水槽消毒委託料	17
・浄水場設備検査委託料	90
・教職員健康診断委託料	67
・児童健康診断委託料	13
14 使用料及び賃借料	423
① 機器等借上料	268
② 自動車借上料	25
③ 放送受信料	23
④ 下水道等使用料	107
15 工事請負費	324
⑤ 補修工事費(資産)	324
・プール持機屋根設置工事	324
18 備品購入費	638
① 機械備品購入費(資産)	321
② 庁用器具購入費(資産)	165
③ 庁用器具購入費(資外)	152
19 負担金補助及び交付金	10
④ その他の負担金	10
・県学校保健会保健主事部会負担金	2
・県学校保健会養護教員部会負担金	3
・県青少年赤十字指導者協議会負担金	1
・全国へき地教育研究連盟負担金	1
・テレビ組合負担金	3
0-02-01-06 学校教育課】	
広田小学校管理費	7,850
7 賃金	1,895
① 臨時雇賃金	24
8 報酬費	24
① 報酬金	3,245
11 費用	841
① 消耗品費	200
② 燃料費	5

支出伝票

項	01	総務管理費
目	02	文書広報費
細目	01	広報紙・広聴事業
節	18	備品購入費
細節	01	機械備品購入費(資産)
説明	00	
支出負担行為済額		1

印紙	住所
受取人	氏名
BS物品	CF①資産形成

伝票欄外

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

予算を編成する時点で仕訳をしている。あとは、会計課で仕訳のデータが正しいかどうかをチェックしていく。こうすることで、年度が終了したときに、仕訳データが正しかったのかどうかを確認するという膨大な作業を軽減することができる。また、資産形成に繋がる取り引きには資産台帳登録済票を支出伝票に添付することで、資産台帳の入力漏れを防止する究極の内部統制ともなっている。

7 取組の効果・費用

この方法であれば、既存システムであっても、標準ソフトウェアを使ってかなり日々仕訳に近いパフォーマンスを実現できる。多くの自治体が予算仕訳を実施すれば、数億、数十億単位でシステム投資コストを抑制できるのではないかと。出納整理期間が終了すると同時に、仕訳の確認と資産台帳への登録確認が済んでいることになり、大幅な効率化、ミスの低減に繋がる。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

決算統計のルールも公会計に近づいてくれば、さらに予算仕訳の威力が発揮される。予算のときにしっかり細節を区分しておくだけで、財務諸表や決算統計のデータ作成が飛躍的に効率化できる。

9 今後の予定・構想

仕訳パターンに合わせて、予算の細節を設定しているため、予算要求時点で予想キャッシュ・フロー計算書などの作成が可能になっている。経常的な収支黒字をどの程度創出し、資産形成収支赤字をどの程度抑制するかなど予算査定にあたっての目標値などを設定しやすくなる。

10 他団体へのアドバイス

期末一括変換方式でも、できるだけお金を掛けず、日々仕訳に近づけていくことは可能である。期末一括変換方式という呼び方に惑わされず、日々確認をしていく体制を構築していけば、期末一括変換方式でも月例監査などでさまざまな複式仕訳データを提供することが可能となる。

11 取組について記載したホームページ

公会計砥部町の取り組み ⇒ 「新たなフェーズ使う公会計へ」
<http://www.town.tobe.ehime.jp/soshiki/8/koukaiketobechounotorikumiyori.html>